



粘りのプレーで勝利に貢献した佐々木 柊^{しゅうや} 選手



ソフトテニス男子団体
優勝（3年ぶり2回目 / 東北大会出場）
前沢中学校



最後まで気持ちが切れなかったで、優勝することができました。試合中は、意識してお互いに声を掛け合い落ち着いてプレー。ピンチになっても、それを逆にチャンスと思うようにして試合に挑みました。

全国大会まで駒を進め、ぜひ1勝を挙げたいです。

小野寺 翼 部長(3年)

1回戦でリズムに乗り切れなかったときは、とても苦しかったです。でも、試合を重ねるごとに、貪欲に“勝ちたい”という気持ちが強くなり、優勝までこぎつけました。

東北大会では、県代表として恥じない試合をしたいと思います。普段どおりのプレーで優勝を目指します。

浅間 楓^{かえで} 主将(3年)



力強いスマッシュで勝ち上がった菊地選手

自信を持って大会に挑み、プレッシャーはありませんでしたが、優勝できて安心しました。優勝の要因は、部員みんなの応援があったからこそだと思います。

東北大会では、自分が今持っている力を精一杯出し切って、全国大会への切符を持って帰ってきます。

バドミントン男子個人(シングルス)
優勝(東北大会出場)
菊地 拓也 選手(江刺一中・3年)



予選では、ハードルを引っ掛けてしまい、やっとの思いで通過しました。決勝では、あきらめない気持ちで、最後まで気を抜かなかったのが1位になれた要因だと思います。

東北大会は共通種目だけなので、残念ながらこしは出場できませんが、来年以降は全国大会まで出場できるようにタイムを更新したいです。

陸上男子1年100mハードル
優勝
佐藤 隼人 選手(水沢中・1年)



管内の合同練習会でレベルアップする佐藤選手



ソフトテニス女子団体
優勝(初優勝 / 東北大会出場)
前沢中学校



今大会は、接戦のゲームが続いたので、優勝した瞬間は、正直ほっとした気持ちになりました。毎日の積み重ねが県優勝につながったと思っています。

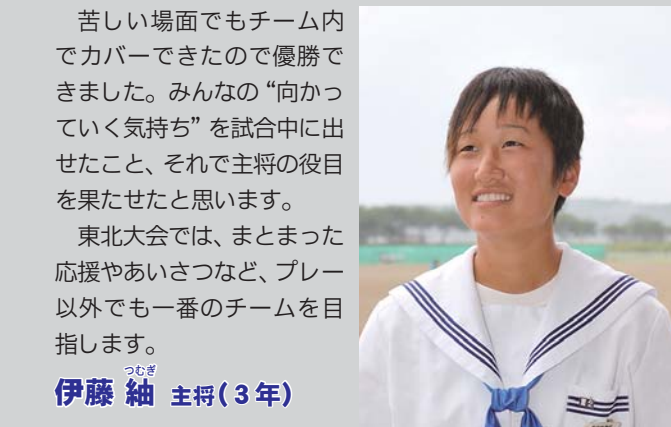
今回の優勝で、チームとして自信が付きましたが、常に挑戦者という気持ちを忘れずプレーします。

森谷 有由美 部長(3年)

苦しい場面でもチーム内でカバーできたので優勝できました。みんなの“向かっていく気持ち”を試合に出せたこと、それで主将の役目を果たせたと思います。

東北大会では、まとまった応援やあいさつなど、プレー以外でも一番のチームを目指します。

伊藤 紬^{つむぎ} 主将(3年)



ポイントを重ねるごとに体いっぱい喜びを表現



東北大会に向けて技の完成度を高める佐藤選手

優勝できてとてもうれしいです。減量が大変で、家族の協力や支えを考えると喜びはひとしおです。後輩部員と励まし合いながら試合に臨み、あらためて部内の絆の強さを感じました。

得意技の背負い投げだけでなく、内股も完全に会得したので、試合で出せるように頑張ります。力を発揮して、一つでも多く勝ち上がりたいです。

柔道女子個人40kg級
優勝(2連覇 / 全国大会・東北大会出場)
佐藤 瑠夏^{るか} 選手(江刺一中・3年)



優勝したものの、目標としている1m88まで届かず、課題が残りました。走高跳は、メンタルが大きく関わる種目です。気持ちの切り替えも大事ですね。心の中で“跳びたい”という思いを高めて跳躍に入るようにしています。

全国大会では、顧問の先生の身長(1m89)以上の跳躍を成功し、入賞を目指したいです。

陸上男子走高跳
優勝(全国大会・東北大会出場)
郷右近 駿太 選手(水沢南中・3年)



全国大会に向け、練習に余念がない郷右近選手